

そぼくな疑問

Q

全身マッサージ器の導入を考えています。機能としてローリングタイプと水流タイプがありますが、それぞれの特徴を教えてください。

神奈川県(K・S)

まず、今回ので質問にお答えさせて頂くにあたり、自社商品(ローリングベッド、ウォーターベット)の現在の売れ筋商品及び機能のご紹介をさせて頂くこととなります事をご容赦願いたいと思います。

《ローリングベッド》

数年前にも一度、本冊子に掲載させて頂きましたが、ローラーベットが日本医療業界に案内されたのが、凡そ数十年前の事になると思われます。その後ここ15年位の間で、ローラーが開発された時の趣旨(マッサージ効果、矯正等)から、利用される業界(エステ業界、家庭医療業界等)に急激に広がりを見せています。同時に利用される対象年齢層が飛躍的に拡大し、それに伴い、この種の商品に対する要望も当然変化いたしました。その為業界側も、ローラーの機能について、より充実したマッサージ療法を採用するようになりました。単一的な動き、強弱だけの変更に加え、部位別マッサージ方法{上半身…回転(求心、遠心)擦法(回転ナシ)、頸部揉捏、腰部揉捏、腰部指圧・下半身…移動バイブレーション、間欠バイブレーション}、そしてバイブレーションと指圧、回転、揉捏とを同時に作用させた複合マッサージ等を採用するよ

うになりました。前述のようなローラーの動きを採り入れる事により、より部位別、患者別重点マッサージが可能となりました。とともに、今までなかなか対応しきれていなかった、ローラーの刺激に対して極度に弱い患者さんに対しても、ご利用いただける程になりました。

※ 用語解説

軽擦法…など、さする(血流の流れを盛んにし、疲労を取り除き皮膚や筋の機能を増進させる。)

揉捏法…もむ(筋の疲労を取り、その収縮力、弾力性を高めて筋を強化する。)

振せん法…ふるわす(こまかくリズムミカルな振動を与える方法で、神経や筋の機能を高めます。)

理学療法概論(日本理学療法学会より抜粋)

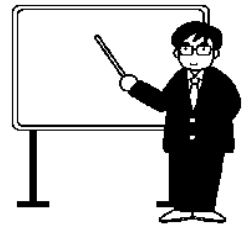
《ウォーターベット》

ついでもう一つの大きな流れがあります、それはマッサージを主としていると言うよりも、全身をこちち良く温もりでリラックスさせながら、マッサージを受けられるというコンセプトの基にウォーターベットが開発されました。ウォーターベットを開発するに際し、ローラーベットと同程度のコンパクト化、重量の軽量化、ランニングコストの低額化、作動音の静音化メンテナンスの低額化など

を考慮しました。もちろん、最重要ポイントであります機能をどのように充実させるかを探求し続けてまいりました。

その結果、数種の器種が開発改良され、現在の商品に至っておりますので、特徴的な機能をご説明させていただきます。

マッサージの特徴は、各部位の心地よい刺激感と深部筋、体の非接触部位の体表面部まで伝達する温水の水圧振動による深部マッサージ効果です。人体の各部位を頸から下腿まで6分割し、それぞれの部位のマッサージ特性を振動周波数で捉え、3～14Hzの範囲の水圧振動周波数を各部位に配置した10基のスクリーノズルに設定しました。これにより部位毎の特性に応じた最適な刺激感やマッサージ感が得られるようになりました。部位それぞれの水圧振動は人体の持つ固有の振動リズム(安静時暗振動—上半身3～6Hz、下半身10～15Hz)や仰向けに寝た姿勢で知覚し始める垂直振動の大きさ(垂直振動知覚閾値)等を、考慮した周波数に設定しています。その為、リラックスした状態で、気持ちの良い刺激と深部筋へのマッサージ効果が得られます。実際にご使用いただきますと、治療中はもちろんの事、治療の終わった後でも



A

回答者 (株)大島製作所 営業本部

和田 哲 幸 さん

〒132-0031 東京都江戸川区松島1-21-7

TEL03-3654-7205

FAX03-3655-8915

マッサージ感が残留し、深部マッサージ効果を実感していただけだと思います。また、マッサージプログラムにおいて10基のスクリーノズルは単独で、あるいは組み合わせで作動します。そのため全身の往復だけでなく、左右交互に行う「左右バランスマッサージ」や左腰から右下腿部への刺激というような「交差マッサージ」等新しい手技を取り入れることができます。新たなマッサージステージを提案できることでしょう。

このようにウォーターベッドは、ローラーベッドとはまた違った全身の温もり、リラックス感、マッサージ感が得られると思います。且つ、ベッドの一人当りの使用時間がローラーと比べ、常に全身を温めながらの治療の為、短縮できるのではと思われまます。

ついで部位毎の知覚閾値からみた水圧振動周波数とその特性をご案内させていただきます。

垂直振動知覚閾値…閾値の大きい場合刺激は弱く感じ、閾値

が小さい場合は刺激を強く感じる。

① 頸部…6Hz～10Hz 垂直振動の知覚閾値が小さい周波数帯で刺激は強く、マッサージ手法の叩打法が行える。

② 肩部…3Hz～5Hz 知覚閾値が大きい周波数帯で刺激は柔らかであるが、片側ずつのマッサージは肩甲骨を動かす感覚となる。

①②頸肩部…3Hz～10Hz 知覚閾値の小さい周波数から大きい周波数まで含んでおり刺激とマッサージ感の強弱が組み合わせる。

③ 背部…4Hz～6Hz 垂直振動の知覚閾値が大きい周波数が多く含まれ刺激は柔らかいが強い押圧を得ることができる。

④ 腰部…6Hz～10Hz 垂直振動の知覚閾値が小さい周波数帯で刺激を強く感じるだけでなく部位特性により仙骨部左右にマッサージ感の残留が感じられる。

③④腰背部…4Hz～10Hz 知覚

閾値の小さい周波数から大きい周波数まで含んでおり刺激とマッサージ感の強弱が組み合わせる。

⑤ 大腿部…7Hz～14Hz 垂直振動の知覚閾値が小さい周波数帯で刺激を強く感じ、筋の垂直振動伝達が良い。

⑥ 下腿部…6Hz～13Hz 垂直振動の知覚閾値が小さい周波数帯で、脛脛をよく刺激し、垂直振動が下腿全体に達する。

以上、製品10基のスクリーノズルにそれぞれの人体部位特性の水圧振動周波数を採り入れた事により、より深部へのマッサージ感を得られるようになった事が最大の特徴です。

追伸、オプション品 サウンドユニット、手元強弱スイッチ手摺り

このコーナーは、医療何でもQ&Aです。読者のみなさまからの治療全般や医療機械に対する疑問を専門の方より回答してもらいます。どんな疑問でも結構ですので、同封のハガキやFAXで編集部まで、どしどしお寄せください。

アクアフェアリーの「面」のマッサージ

